

## 安全かつ早期の処理完了に向けた市の主な取組

平成 30 年 7 月 北九州市環境局

### 1. 処理の安全性確保

- 北九州 PCB 処理事業所における処理の安全性を確保するため、抜き打ちによる立入検査を継続的に実施（昨年は 24 回）するとともに、安全操業に関する報告徴収を通じたチェックを実施。
- また、JESCO と運転会社の会議や事業所内研修に参加（昨年は 36 回）して、全てのリスク情報を現場から直接収集・把握するなど、適切な操業管理を徹底。

### 2. 期間内での確実な処理

関係自治体に対して、会議の開催に加え、個別訪問して取組状況の把握及び本市取組の水平展開を行うとともに、早期処理に向けた取組強化を要請。また、関係者において、JESCO への処分委託状況の進捗を管理。

#### ○ 第 6 回北九州 PCB 廃棄物処理事業に係る西日本広域協議会の開催

【開催日】：平成 30 年 8 月 1 日（予定）

【議題】：JESCO 北九州 PCB 処理事業所の操業状況等について  
PCB 廃棄物早期処理促進に向けた環境省の取組について  
自治体の取組内容について

【参加自治体】：豊田、大阪、北九州事業エリアの 27 府県・41 市

#### ○ 期間内処理達成に向けた取組の徹底を要請

【文書発出】：北九州事業エリアの全自治体に対して、高濃度 PCB 廃棄物（変圧器コンデンサー）の期限内処理の達成に向けた対応について要請文書を発出（平成 30 年 4 月 16 日）

【個別訪問】：未契約事業者を抱えている自治体等を個別訪問（平成 30 年 5 月 9～11 日、16～18 日）

#### ○ JESCO への処分委託状況の進捗管理会議を関係者において毎月実施

【関係者】：JESCO、環境省、本市

【会議内容】：JESCO 未登録・未契約事業者の状況と対策について

（以上）